

Weekly Report



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度
国際ロータリーのテーマ
ロータリー：変化をもたらす
(ROTARY: MAKING A
DIFFERENCE)

2017～2018年度
名古屋瑞穂ロータリー
クラブ会長のテーマ
ロータリーの品格を高めよう!

創 立：1980年(昭和55年)11月10日
会 長：稲葉 徹
幹 事：大嶽 達郎
クラブ広報委員長：鈴木 健司
例 会 日：毎週木曜日 PM12:30～
会 場：ビルトシ名古屋

事 務 局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3/AMMNATビル7F
T E L：052-211-3803
F A X：052-211-2623
M A I L：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

第1798回例会

～会員増強・新クラブ結成推進月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2017年8月10日(木) 晴れ 第6回

司 会：鈴木淑久会場委員長
齊 唱：「我等の生業」
グ ス ト：NPO法人フェアトレード 名古屋ネットワーク代表理事
原田さとみさん
ビ ジ タ ー：大阪RC 難波正人さん

会長挨拶

稲葉徹会長

皆さんこんにちは。「立秋」(8月7日頃)を過ぎますと、暦の上ではもう秋です。「立秋」は二十四節気の一つです。

二十四節気についてここでふれておきますと旧暦(太陰太陽暦)では一太陽年を24等分した二十四節気をさだめて季節を知らせていました。

二至二分(冬至・夏至・春分・秋分)を軸として、その中間点に四立(立春・立夏・立秋・立冬)をおき、これらを合わせて「八節」と言います。二十四節気にはこの八節を柱として、それぞれの季節にふさわしい名称がついています。旧暦7月の「立秋」が新暦の8月7日頃です。「立秋」は文字通り「秋立つ」日、暦の上では夏が終わり、秋の始まりを告げる頃です。しかし、実際には「暑さ寒さも彼岸まで」と言われるように、まだまだ厳しい暑さが続き、涼しくなるのは秋のお彼岸(9月下旬)の頃です。この立秋を過ぎると夏の挨拶状は「暑中見舞い」から「残暑見舞い」へと変わります。

そして今のこの時期8月はまだまだ厳しい暑が残っています。これを「残暑」と言い「残る暑さ」「秋暑」とも言われています。こんな日の振り返る暑さは体にこたえます。暑気あたりで体調を崩さないように注意したいものです。

この暑い夏の期間に暑気払いとして冷たいビールを飲んだり、冷たいものをいただくことが多いわけですが、昔の人の知恵によりますと、体の内部の熱を下げる食べ物や飲み物を食べた方が良いでしょう。(なかなかできませんが...)例えば冬瓜のスープやゴーヤの炒め物、飲む点滴と言われる甘酒を冷やしたものなどを食べるのが理にかなっていると言われてます。暑気払いにおすすめの江戸時代の夏の風物詩の枇杷葉湯も体に良いでしょう。枇杷の葉、肉桂、甘茶などを細かく切って混ぜ合わせたものを煎じて入れたものですが、私も飲んだことがないので、一度ためしてみようと思っています。最近、年のせいか健康のことがやたら気になるようになりました。

皆様、良いお盆休みをお過ごし下さい。

出席報告

花井芳太郎出席委員

会員64名 出席39名 (出席計算人数48名)

出席率 69.6% 8月 3日は補填により 91.1%

ニコボックス

花井芳太郎ニコボックス委員

- ・本日の卓話は僕も応援しているフェアトレードのお話です。よろしく御願います。 鶴田 浩さん
- ・「8月は会員増強月間です」と会長に言われました。すてきな仲間のご紹介をよろしく願います。 関谷 俊征さん

- ・東京上野の国立西洋美術館で現在「アルチンボルト」展が開かれています。西洋「だまし絵」の面白い展覧会です。興味のある方は是非ご覧下さい。 森 裕之さん
- ・残暑御見舞い申し上げます。 湯澤 信雄さん
- ・松波先生、昨日はお世話になりました。ありがとうございました。 堀 慎治さん 田中 宏さん

- ・先日、姪の舞台を見にいってきました。 鈴木 淑久さん

幹事報告

大嶽達郎幹事

- ・下期の例会予定が一部変更になりました。2018年2月21日(水)の西名古屋区分IMを例会扱いにします。それに伴い、2月22日(木)は振替により例会変更、職場例会は2月15日(木)になります。修正したものをメールBOXにて入れてあります。
- ・九州北部豪雨災害義援金をニコボックスより1,000円×64名分抽出します。更に任意で義援金を募りますので、用意した募金ボックスに入れてください。
- ・次週8月17日(木)はR規定に基づき休会です。
- ・8月24日(木)18:00から関谷直前幹事慰労会を蓮葉軒 神宮店にて行います。
- ・事務局のお盆休みは8月14日(月)～18日(金)となります。

委員会・同好会報告

ロータリー財団：松波恒彦委員長

地区で委員会がありました。クラブフォーラムでもお話をしていますが、皆様のご理解と寄付が必要です。入会と同時に米山、ポールハリスフェローとご協力いただいておりますが、マルチプルなど色々ございますのでそちらも宜しくお願いします。

野球部会：鈴木淑久さん

上期の会費を次々週に回収しますので、ご協力お願いします。尚、8月31日に早朝練習を用意しており、FAXを流しておりますので皆様ぜひともご参加下さい。名古屋瑞穂RCでも支援している熱田宮宿舎からヘルプの人員を出してもらい、試合形式で行います。人数が必要なので、沢山の方の参加をお願い致します。

カラオケ同好会：近藤茂弘会長

8月31日なごやか例会終了後に開催しますので、多数のご参加をお願いします。またご案内をお送りしますので宜しくお願いします。

卓話

NPO法人フェアトレード 名古屋ネットワーク代表理事
原田さとみさん

地球と世界そして今と未来を繋ぐ地球とのフェアトレード

原田さとみと申します。随分前になりますが、中部地区でテレビやモデルの仕事をしてきました。皆様の中にご存じの方がいればいいなと思います。

さて今日は、「フェアトレード」「フェアトレードタウン」「エシカル」という3つのカタカナ語を使わせていただきます。名古屋市は公式に「フェアトレードタウン」に認定されており、市長や職員の方々と共に、フェアトレードタウン運動を行っております。本日はその話をさせていただきます。

私の会社は「エシカルペネロープ」と申します。これが一番の肩書きです。エシカルな商材の売買をしています。テレビ塔の一階にフェアトレードの理念で作ったお店がありまして、そこでフェアトレードと呼ばれる品々を販売しています。また私は、NPO法人フェアトレード名古屋ネットワークの代表を

務めております。この市民団体が小さな活動から積み上げ、227万人都市の名古屋を市民の力で「フェアトレードタウン」にしました。

「フェアトレード」とは人と社会に優しい取り組みをいいます。アジアやアフリカ、中南米などの女性や小規模生産者たちの社会的、経済的地位を確立していくものなのですが、仕事の機会を作り公正な対価を支払うことで、自立した生活を送ること、これを理念としております。つまり児童労働問題や貧困問題の解決に繋がれようということです。またフェアトレードは、オーガニックや有機農薬にも力を入れています。食べる人や着る人の健康管理はもちろん、作る人が農薬を散布することで体を悪くしてしまうことが無いようにするのです。

フェアトレードのマークは世界認証のマークです。最近ではCSRの一つとしてフェアトレード商品を取り入れている会社が現れ、イオンやユニーをはじめ様々な大きな商店でフェアトレード商品が扱われるようになりました。珈琲、紅茶、チョコレートのフェアトレード商品は代表的な商品です。私はチョコレートがきっかけで、この活動を始めました。

私には現在17歳の息子がいます。その息子が3歳のとき、チョコレートを与えたところ、新聞でショッキングな記事を目にしたのです。“チョコレートは児童労働問題を孕んでおり、カカオ農園では子どもたちが働かされている。親元から離され、何も分からず小さな手で大きなカカオの実をもぎり、カカオの実を取っている。それを無くす為、フェアトレードのチョコレートが発売された。”という内容でした。小さな子をもつ新米ママとしては、衝撃でした。食べている私達は幸せでも、それを作っている子どもたちは不幸せなのだという現状があるならそれはいけない。では何ができるのかと考え、フェアトレードのチョコレートを選ぶようになりました。

同じ頃パリのセレクトショップを営んでおり、高い洋服がある中でフェアトレードのチョコレートを1つ販売したところ、とても売れました。高い物の中で300円程のチョコレートは安く感じたのかもしれませんが、それよりも味が美味しかったのです。なぜ美味しいかという、どこでどのように誰が作ったかが見えることで更に美味しく食べていただけるからです。お客様が包み紙を見てこのチョコレートがどうやってきて、世の中がどうなっているかを知ること、チョコレートを選んでくれるようになりました。

ではその後に並んでいる洋服はどうなのかと私は思うようになりました。パリのファッションウィークに行って現地で買付しお店で売っていましたが、その時に「エシカルファッション」というものに会いました。「エシカルファッション」とは倫理的ファッションのことで、ファッションでも少しずつフェアトレードの商品が出てきたのです。そして私の買付の方向が変わっていききました。

息子にフェアトレードのチョコレートを与え始め、お店でエシカルファッションを推進し始めた頃、「そういうことをしているタレント兼ショップオーナーがいる」と、JICAからオフィシャルサポーターのオファーが来ました。様々な途上国を訪問し、そこで日本のJICA・ODAの行っていることを見聞きして、その活動を日本で伝えるというものでした。また、一村一品というプロジェクトがあり、その産地の商品売れるものにして日本に繋げていくというフェアトレードを行っている知り、JICAのオフィシャルサポーターを引き受け海外に行くようになりました。現在は年に一回、途上国へ行っています。その中で感じるのは、途上国からは学ぶものしか無いということです。我々が全て正しいとは言えず、ここから物を買ったり売ったりというだけではない沢山のことを学びました。

オフィシャルサポーターの活動を始めて8年目になりますが、先月キルギスに行きました。エチオピアの首都アディスアベバにある、フェアトレードの市の写真をお見せします。女性が30kg分の木を背負って、山の奥の方から歩いて降りているところです。これを売ってお金にするのです。その日暮らしの貧しさが故にこのような重労働を強いられています。食べていくために仕方がないからです。

この女性の身体を守るためにできること、それは仕事を作ることです。現地の女性が織って販売している商品を、直接私が選りテレビ塔の下のお店でも販売します。これがフェアトレードです。この織物を商品化するにあたり、当時はオーガニックコットンではありませんでした。まず仕事を増やすことを優先し、徐々にオーガニックコットンを使用し、天然の染料を使って色鮮やかな染色をし商品化することができました。私たちはこういった技術と文化を守ってほしいと思い、その実現のためにこれらをお金に換えていきたい、フェアトレードに励んでいます。

エシカルファッションというカテゴリは以下の事を大切にしています。

- ①地球環境に負担を掛けない天然自然素材を使っていること。
- ②生産者に対して公正な労働条件・賃金で、人や社会に配慮のあるフェアトレードであること。

③地域における伝統技術、製法、地域に根ざした産業を活かしたものづくりをしているかどうか。

④魅力的なデザインで確かな品質であること(これは消費者の方々に対してフェアであることだと私は思っています)。

この4つが叶ってこそエシカルファッションであり、フェアトレードが広がっていくのだと思っています。

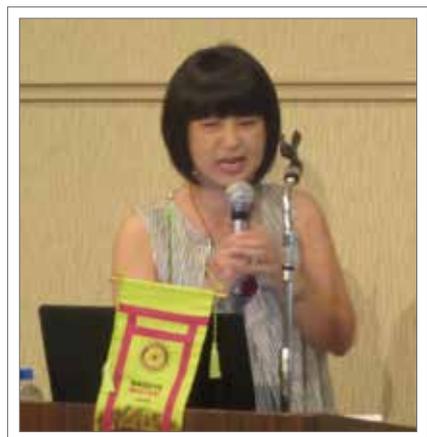
私たちの理念は一言で言うと「地球とのフェアトレード」です。実は、海外について考えることは地元の課題解決にも繋がります。途上国の方々から得るのが多いと述べたのは、このことなのです。私たちがなすべきことの1つは地域内のフェアトレードです。地域の方々の潤いを作ること、地域の方々の伝統を継承すること、それらに一生懸命になることが地球とのフェアトレードです。

そしてもう1つは、自然環境とのフェアトレードです。自然環境を大事にし、地域に対しても地球に対してもフェアであることをフェアトレードとしました。街ぐるみでフェアトレードを推進する街を「フェアトレードタウン」といい、世界には1900のフェアトレードタウンがあります。日本では熊本市しかありませんでした。名古屋は2番目で2015年に認定されました。名古屋が認定されるまで10年近くかかりましたが、市民運動でどんどん広がっていったので、日本の中でも名古屋はフェアトレードの認知度が高いです。しかし、フェアトレードタウンになったことを知っている人はまだ少ないので、このように皆さんにお伝えし、皆さんにもフェアトレードの理念を1つ取り入れてもらえたらと思ひ、様々な活動をしています。私たちがフェアトレードを推進することは途上国のことだけを解決するのではなく、私たち自身の問題を解決し、フェアトレードで盛り上がることで街の賑わいにもなるということを皆さんに知っていただきたいです。

イベントを開催すると、フェアトレードについて勉強している学生や様々な人が集まります。そのような人々が発表したり交流したり、売ったり買ったり食べたりしています。年に3回大きなイベントがあり、5月に「世界フェアトレードデー」、9月16日に「名古屋市長主催の環境デー(ここでは秋のフェアトレードタウン祭りをを行います)」、10月に白鳥庭園で「エシカルデー」を行います。また名古屋市自身が認知度を広めるためにパンフレットを作り、色々なところで展示しています。名古屋市環境局にはフェアトレードの窓口が置かれました。環境局の皆さんが共にフェアトレードを推進してくれています。また、教育委員会では給食12万食にフェアトレードが導入されています。フェアトレード商品の公共調達には実は全国初の試みでした。9月の「フェアトレードタウン祭り」でも、興和株式会社さんがフェアトレードしており、オーガニックコットンを使って学生が洋服を仕立てました。その他にも、様々なコラボレーションをしたり発表を通してフェアトレードをアピールしております。

今後、私たちが目指すべきところは国際会議を誘致することです。1900あるフェアトレードタウンの様々な市や町で「フェアトレード国際会議」が行われております。それをぜひ名古屋に呼びましょうという大きな目標を掲げて私達は歩んでおります。皆様のお力添えがあると楽しい国際会議になると思ひますので、ぜひ皆様と歩んでいけたらと思っています。

本日はお時間をいただきましてありがとうございます。



例会のご案内

- 今週 8月17日(木) R規定により休会
- 次週の卓話 8月24日(木)
テ — マ : 共に生きる社会
卓 話 者 : スペシャルオリンピックス日本・愛知
ボランティア委員長
八塚奈保子さん
- 次々週行事 8月31日(木) なごやか例会
場 所 : ヒルトン名古屋4階「桜の間」
時 間 : 18:00~20:00